

| | | | |
|-----------|---------------------------|------------|-----------|
| 講義コード | 1130070 | ナンバリング番号 | 101INF102 |
| 講義名 | 情報リテラシー（情報倫理を含む）（看護a） | | |
| 講義名（英文） | Information Literacy（看護a） | | |
| 副題 | | 旧カリキュラム名 | |
| 単位数 | 2単位 | 開講期 | 2024年度前期 |
| 授業形態 | | アクティブラーニング | 無 |
| プレゼンテーション | 板書／視聴覚メディア等の利用／その他 | | |
| 担当教員 | 森 将豪※ | | |
| 実務経験/実践教育 | | | |

シラバス

| | |
|------|--|
| 授業概要 | 情報処理技術を習得することは、日常生活に資するだけでなく、大学で学び研究する上で必要不可欠なものである。本授業では、高年次で開講される授業や演習および実習等で必要とされる情報技術（Webブラウザの操作と検索ツールを用いた文献資料検索技術、文書作成処理技術など）について説明する。 具体的には、レポートおよび論文作成の基本的な方法について詳しく説明するとともに、プレゼンテーションソフトによる成果発表の手法についても言及する。 また、情報処理技術に関連した情報倫理のみならず、近年話題のＡＩ・ビッグデータ等の利活用の最新動向と、利活用する際に必要な倫理と留意事項についても学ぶ。 |
| 到達目標 | (1) 大学で学ぶための自分の情報処理環境を整備できること。情報ネットワークを介して検索ツールを駆使することができ、学術情報の検索ができるようになる。そして情報倫理についても理解を深める。 (2) 論文やレポートの作成のために必要不可欠な執筆作法の基礎的事項を習得する。 (3) 設定した問題に対し、彼我の論点を整理・対比させ、論理的に議論を展開し結論づけることができるようになる。 (4) 社会におけるＡＩ・ビッグデータの利活用と、その際の倫理および留意事項について理解を深める。 |

学位授与方針との対応

| 概要 | 能力 | 比重 |
|---|-------|----|
| 市民としての責任感と倫理性を身につける。 | 態度・倫理 | ○ |
| 情報リテラシー、数量的スキル、表現力など社会人として生きていくために必要な汎用的能力を身につける。 | 汎用的能力 | ◎ |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |

※複数学科で開講される科目では主たる担当教員の所属学科の「学位授与方針との対応」となっていますので、履修の手引で確認してください。

| 授業計画 | | | | |
|---------|--|--|------|---|
| 第1回授業内容 | 情報処理環境の基本操作と設定 | ・ 情報処理（演習室）環境の基本構成と利用方法 ・ パスワードの設定 ・ 情報処理（演習室）環境の慣熟操作 ・ 電子メールおよびインターネット環境の設定と実践 | 目安時間 | 2 |
| ・・・予習内容 | キーボードからの入力に慣れておくこと。 「滋賀県立大学 統合認証システム アカウント情報通知書」を必ず持参すること。 | | 目安時間 | 1 |
| ・・・復習内容 | ノートを整理し、新たに学んだことや初めて知った操作方法を再確認し、授業中に行った実習を再度はじめてやり直すことができるかどうか確認すること。 | | 目安時間 | 2 |
| 第2回授業内容 | データサイエンス入門 | ・ ＡＩ・ＩｏＴ・ビッグデータ等によるSociety 5.0の実現に向けた社会変化と、ＡＩ・ビッグデータ利活用の最新動向を学ぶ。 | 目安時間 | 2 |
| ・・・予習内容 | 指定した教科書の第1章の1.1および1.6を熟読しておくこと。 | | 目安時間 | 2 |
| ・・・復習内容 | 授業内容について理解を深めるために、教科書の第1章の他の節も読んでおくことが望ましい。 | | 目安時間 | 1 |

| | | | | |
|----------|---|--|------|---|
| 第3回授業内容 | 情報倫理について ～情報の保護と責務～ | ・ 個人情報の管理とインターネット使用上の留意点 ・ 電子メールの使い方について ・ 情報発信と著作権侵害 ・ 知的財産権について | 目安時間 | 2 |
| ・・・予習内容 | 配布予定の「2024年度版 情報倫理ハンドブック」を一読しておくこと。 | | 目安時間 | 1 |
| ・・・復習内容 | ノートを整理し、新たに学んだことや初めて知った操作方法を再確認し、授業中に行った実習を再度はじめてからやり直すことができるかどうか確認すること。 | | 目安時間 | 2 |
| 第4回授業内容 | 情報倫理について | ビッグデータ・AIを扱う上で必要となる倫理とデータのセキュリティを学ぶ | 目安時間 | 2 |
| ・・・予習内容 | 指定した教科書の第3章の3.1および3.2を熟読しておくこと。 | | 目安時間 | 1 |
| ・・・復習内容 | 授業内容について理解を深めるために、教科書の第3章を再度通読しておくこと。 | | 目安時間 | 2 |
| 第5回授業内容 | 文書作成ソフトウェアの基礎 | ・ 文書作成ソフトウェアの起動と作成文書の保存(先) ・ OneDriveの使い方、USBメモリの使い方、等 ・ 文書作成ソフトによるレポート作成の基本事項 | 目安時間 | 2 |
| ・・・予習内容 | 配布資料「OneDriveの使い方」を一読しておくこと。 | | 目安時間 | 1 |
| ・・・復習内容 | ノートを整理し、新たに学んだことや初めて知った操作方法を再確認し、授業中に行った実習を再度はじめてからやり直すことができるかどうか確認すること。 | | 目安時間 | 2 |
| 第6回授業内容 | 表現の形態 ～論文を書くとは～ | ・ 論文を書くとはどのようなことか、レポートとの相違点 ・ レポートを書くときの注意点、論文の標準的なスタイル。 | 目安時間 | 2 |
| ・・・予習内容 | 配布資料「表現の形態～論文を書くこと」の第1章を精読しておくこと。 | | 目安時間 | 1 |
| ・・・復習内容 | ノートを整理し、新たに学んだことや初めて知った操作方法を再確認し、授業中に行った実習を再度はじめてからやり直すことができるかどうか確認すること。 | | 目安時間 | 2 |
| 第7回授業内容 | 論文作法－1 ～書式設定の詳細～ | ・ 文書を入力する（書く）前に必要なこと ・ 書式設定の詳細（マージン、フォントとサイズ、段組、等） | 目安時間 | 2 |
| ・・・予習内容 | 配布資料「表現の形態～論文を書くこと」の、頁余白、使用されている全角・半角文字のスタイルとその大きさ、行数と1行の文字数、脚注などについて詳細に調べておくこと。 | | 目安時間 | 1 |
| ・・・復習内容 | ノートを整理し、新たに学んだことや初めて知った操作方法を再確認し、授業中に行った実習を再度はじめてからやり直すことができるかどうか確認すること。 | | 目安時間 | 2 |
| 第8回授業内容 | 論文作法－2 ～論文の構成～ | ・ 具体的な入力法（章だて、段落、脚注、インデント、参考文献、等） | 目安時間 | 2 |
| ・・・予習内容 | 配布資料「表現の形態～論文を書くこと」の全体構成がどのようになっているか精査しておくこと。 | | 目安時間 | 1 |
| ・・・復習内容 | ノートを整理し、新たに学んだことや初めて知った操作方法を再確認し、授業中に行った実習を再度はじめてからやり直すことができるかどうか確認すること。 | | 目安時間 | 2 |
| 第9回授業内容 | 論文作法－3 ～Excelによる表データの可視化～ | ・ 作表および表データの可視化 ・ エクセルからの可視化データの読み込み、等 | 目安時間 | 2 |
| ・・・予習内容 | 高校の「情報」の授業で学んだExcelの操作について復習しておくこと。 教科書の第2章の2.2を熟読しておくこと。 | | 目安時間 | 1 |
| ・・・復習内容 | ノートを整理し、新たに学んだことや初めて知った操作方法を再確認し、授業中に行った実習を再度はじめてからやり直すことができるかどうか確認すること。 授業内容について理解を深めるために、教科書の第2章の他の節も読んでおくことが望ましい。 | | 目安時間 | 2 |
| 第10回授業内容 | 論文作法－4 ～論文の形式～ | ・ 論文の形式と文章の特徴（文体） | 目安時間 | 2 |
| ・・・予習内容 | 配布資料「表現の形態～論文を書くこと」の第2章を精読しておくこと。 | | 目安時間 | 1 |
| ・・・復習内容 | ノートを整理し、新たに学んだことや初めて知った操作方法を再確認し、授業中に行った実習を再度はじめてからやり直すことができるかどうか確認すること。 | | 目安時間 | 2 |
| 第11回授業内容 | 図書文献検索ガイダンス | ・ 資料検索ツールおよび図書館での資料検索技術の習得 | 目安時間 | 2 |
| ・・・予習内容 | オリエンテーションで説明された図書館ガイダンスに関する資料を、いま一度目を通しておくこと。 | | 目安時間 | 1 |

| | | | |
|-----------|---|--|-----------|
| ・・・復習内容 | ノートを整理し、新たに学んだことや初めて知った操作方法を再確認し、授業中に行った実習を再度はじめてからやり直すことができるかどうか確認すること。 | 目安時間 | 2 |
| 第12回授業内容 | 論文作法－5 ～剽窃防止と文献引用～ | ・剽窃防止の徹底と文献引用の仕方について ・知的所有権と情報へのアクセスの確保 | 目安時間 2 |
| ・・・予習内容 | 配布資料「表現の形態～論文を書くこと」の第3章を精読しておくこと。 指定した教科書の第3章の3.1を熟読しておくこと。 | 目安時間 | 1 |
| ・・・復習内容 | ノートを整理し、新たに学んだことや初めて知った操作方法を再確認し、授業中に行った実習を再度はじめてからやり直すことができるかどうか確認すること。 授業内容について理解を深めるために、教科書の第3章を通読しておくこと。 | 目安時間 | 2 |
| 第13回授業内容 | 論文作法－6 ～論文発表の基本～ | ・パワーポイントを用いた論文発表の基本とその注意点 | 目安時間 2 |
| ・・・予習内容 | (資料として配布する) Power Point で作成したスライド図を精読しておくこと。 | 目安時間 | 1 |
| ・・・復習内容 | ノートを整理し、新たに学んだことや初めて知った操作方法を再確認し、授業中に行った実習を再度はじめてからやり直すことができるかどうか確認すること。 | 目安時間 | 2 |
| 第14回授業内容 | 表現の形態 ～まとめ～ | ・論文作法のまとめ ・作成課題(「表現の形態～論文を書くこと」)の印刷と提出 | 目安時間 2 |
| ・・・予習内容 | 配布資料「表現の形態～論文を書くこと」の全体を通読し、その要点を各自まとめておくこと。 | 目安時間 | 1 |
| ・・・復習内容 | ノートを整理し、新たに学んだことや初めて知った操作方法を再確認し、授業中に行った実習を再度はじめてからやり直すことができるかどうか確認すること。 | 目安時間 | 2 |
| 第15回授業内容 | 課題レポートの準備 | ・課題レポート(小論文)について | 目安時間 2 |
| ・・・予習内容 | 課題レポート(小論文)を執筆するにあたり、問題にしたいテーマを考える。 | 目安時間 | 2 |
| ・・・復習内容 | 配布資料「表現の形態～論文を書くこと」に則って課題レポート(小論文)をまとめ上げ、締切までに提出する。 | 目安時間 | 16 |
| 学修時間合計・・・ | | | 90 |

※予習、復習の目安時間については、それぞれに記載している場合と復習の目安時間に予習にかかる目安時間と合算して表記している場合があります。

| 成績評価 | | |
|--------------|-------|---|
| 種別 | 割合(%) | 評価基準等 |
| 定期試験 | | |
| レポート課題 | 60 | 到達目標で示す (1) 大学で学ぶための自分の情報処理環境を整備できること、情報ネットワークの活用により学術情報の検索ができること、情報倫理についても理解を深めること(20%)、 (2) 論文やレポートの作成のために不可欠な執筆作法の基礎的事項を習得すること(20%)、 (3) 設定した問題に対し、彼我的論点を整理・対比させ、論理的に結論づけることができる(20%)、 について課題レポートを課し、評価する。 |
| 上記以外 | 40 | 毎回の授業において、受講生には到達目標項目等についてレスポンスペーパーへの記入を要求し、各人の授業の理解度をチェックし評価する。 |
| ループリック添付ファイル | 無 | |
| 成績評価備考 | | |
| その他授業外学習 | | |

| 教科書 | | | | |
|----------------|---|-----|---------------|----|
| 書籍名 | 著者名 | 出版社 | ISBN/ISSN | 備考 |
| 教養としてのデータサイエンス | 北川源四郎・竹村彰通（編） | 講談社 | 9784065238097 | |
| 教科書備考 | ・ 授業資料を適宜配布する。 ・ 初回授業には「滋県立大学 アカウント情報通知書」を必ず持参すること。 ・ 本授業のための専用ノートを一冊用意し、初回授業に持参すること。 | | | |
| 参考書 | | | | |
| 書籍名 | 著者名 | 出版社 | ISBN/ISSN | 備考 |

| | | | | |
|-------------------------|-----------|---------|---------------|--|
| 知の技法：東京大学教養学部「基礎演習」テキスト | 小林康夫・船曳建夫 | 東京大学出版会 | 9784130033053 | |
| 参考書備考 | | | | |

| | |
|--------------------------------|--|
| 前提学力等 | キーボードからの入力操作に慣熟しておくこと。 |
| 履修資格 | |
| 授業の参考となるサイト | |
| 担当者から一言（授業評価アンケート結果をふまえたコメント等） | <ul style="list-style-type: none">・ 実習を伴う授業ですので，授業で習った内容について次の授業までに必ず復習し，実習内容を習得しておくことが必要不可欠です。・ 授業を欠席した場合は，必ずその日の授業内容を友人に尋ねて理解し，次の授業までに習得しておくこと。 |
| 関連する画像・文章・動画URL | |

| | | | |
|-----------|----------------------------|------------|-----------|
| 講義コード | 1130080 | ナンバリング番号 | 101INF102 |
| 講義名 | 情報リテラシー（情報倫理を含む）（看護b） | | |
| 講義名（英文） | Information Literacy (看護b) | | |
| 副題 | | 旧カリキュラム名 | |
| 単位数 | 2単位 | 開講期 | 2024年度前期 |
| 授業形態 | | アクティブラーニング | 無 |
| プレゼンテーション | 板書／視聴覚メディア等の利用／その他 | | |
| 担当教員 | 森 将豪※ | | |
| 実務経験/実践教育 | | | |

シラバス

| | |
|------|---|
| 授業概要 | <p>情報処理技術を習得することは、日常生活に資するだけでなく、大学で学び研究する上で必要不可欠なものである。本授業では、高年次で開講される授業や演習および実習等で必要とされる情報技術（Webブラウザの操作と検索ツールを用いた文献資料検索技術、文書作成処理技術など）について説明する。</p> <p>具体的には、レポートおよび論文作成の基本的な方法について詳しく説明するとともに、プレゼンテーションソフトによる成果発表の手法についても言及する。</p> <p>また、情報処理技術に関連した情報倫理のみならず、近年話題のＡＩ・ビッグデータ等の利活用の最新動向と、利活用する際に必要な倫理と留意事項についても学ぶ。</p> |
| 到達目標 | <p>(1) 大学で学ぶための自分の情報処理環境を整備できること。情報ネットワークを介して検索ツールを駆使することができ、学術情報の検索ができるようになる。そして情報倫理についても理解を深める。</p> <p>(2) 論文やレポートの作成のために必要不可欠な執筆作法の基礎的事項を習得する。</p> <p>(3) 設定した問題に対し、彼我の論点を整理・対比させ、論理的に議論を展開し結論づけることができるようになる。</p> <p>(4) 社会におけるＡＩ・ビッグデータの利活用と、その際の倫理および留意事項について理解を深める。</p> |

| 学位授与方針との対応 | | |
|---|-------|----|
| 概要 | 能力 | 比重 |
| 市民としての責任感と倫理性を身につける。 | 態度・倫理 | ○ |
| 情報リテラシー、数量的スキル、表現力など社会人として生きていくために必要な汎用的能力を身につける。 | 汎用的能力 | ◎ |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |

※複数学科で開講される科目では主たる担当教員の所属学科の「学位授与方針との対応」となっていますので、履修の手引で確認してください。

| 授業計画 | | | | |
|-----------|--|--|------|---|
| 第 1 回授業内容 | 情報処理環境の基本操作と設定 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 情報処理（演習室）環境の基本構成と利用方法 ・ パスワードの設定 ・ 情報処理（演習室）環境の慣熟操作 ・ 電子メールおよびインターネット環境の設定と実践 | 目安時間 | 2 |
| ・・・予習内容 | キーボードからの入力に慣れておくこと。 「滋賀県立大学 統合認証システム アカウント情報通知書」を必ず持参すること。 | | 目安時間 | 1 |
| ・・・復習内容 | ノートを整理し、新たに学んだことや初めて知った操作方法を再確認し、授業中に行った実習を再度はじめてからやり直すことができるかどうか確認すること。 | | 目安時間 | 2 |
| 第 2 回授業内容 | データサイエンス入門 | <ul style="list-style-type: none"> ・ ＡＩ・ＩｏＴ・ビッグデータ等によるSociety 5.0の実現に向けた社会変化と、ＡＩ・ビッグデータ利活用の最新動向を学ぶ。 | 目安時間 | 2 |
| ・・・予習内容 | 指定した教科書の第 1 章の 1.1 および 1.6 を熟読しておくこと。 | | 目安時間 | 2 |
| ・・・復習内容 | 授業内容について理解を深めるために、教科書の第 1 章の他の節も読んでおくことが望ましい。 | | 目安時間 | 1 |

| | | | | |
|----------|---|--|------|---|
| 第3回授業内容 | 情報倫理について ～情報の保護と責務～ | ・ 個人情報の管理とインターネット使用上の留意点 ・ 電子メールの使い方について ・ 情報発信と著作権侵害 ・ 知的財産権について | 目安時間 | 2 |
| ・・・予習内容 | 配布予定の「2024年度版 情報倫理ハンドブック」を一読しておくこと。 | | 目安時間 | 1 |
| ・・・復習内容 | ノートを整理し、新たに学んだことや初めて知った操作方法を再確認し、授業中に行った実習を再度はじめてからやり直すことができるかどうか確認すること。 | | 目安時間 | 2 |
| 第4回授業内容 | 情報倫理について | ビッグデータ・AIを扱う上で必要となる倫理とデータのセキュリティを学ぶ | 目安時間 | 2 |
| ・・・予習内容 | 指定した教科書の第3章の3.1および3.2を熟読しておくこと。 | | 目安時間 | 1 |
| ・・・復習内容 | 授業内容について理解を深めるために、教科書の第3章を再度通読しておくこと。 | | 目安時間 | 2 |
| 第5回授業内容 | 文書作成ソフトウェアの基礎 | ・ 文書作成ソフトウェアの起動と作成文書の保存(先) ・ OneDriveの使い方、USBメモリの使い方、等 ・ 文書作成ソフトによるレポート作成の基本事項 | 目安時間 | 2 |
| ・・・予習内容 | 配布資料「OneDriveの使い方」を一読しておくこと。 | | 目安時間 | 1 |
| ・・・復習内容 | ノートを整理し、新たに学んだことや初めて知った操作方法を再確認し、授業中に行った実習を再度はじめてからやり直すことができるかどうか確認すること。 | | 目安時間 | 2 |
| 第6回授業内容 | 表現の形態 ～論文を書くとは～ | ・ 論文を書くとはどのようなことか、レポートとの相違点 ・ レポートを書くときの注意点、論文の標準的なスタイル。 | 目安時間 | 2 |
| ・・・予習内容 | 配布資料「表現の形態～論文を書くこと」の第1章を精読しておくこと。 | | 目安時間 | 1 |
| ・・・復習内容 | ノートを整理し、新たに学んだことや初めて知った操作方法を再確認し、授業中に行った実習を再度はじめてからやり直すことができるかどうか確認すること。 | | 目安時間 | 2 |
| 第7回授業内容 | 論文作法－1 ～書式設定の詳細～ | ・ 文書を入力する（書く）前に必要なこと ・ 書式設定の詳細（マージン、フォントとサイズ、段組、等） | 目安時間 | 2 |
| ・・・予習内容 | 配布資料「表現の形態～論文を書くこと」の、頁余白、使用されている全角・半角文字のスタイルとその大きさ、行数と1行の文字数、脚注などについて詳細に調べておくこと。 | | 目安時間 | 1 |
| ・・・復習内容 | ノートを整理し、新たに学んだことや初めて知った操作方法を再確認し、授業中に行った実習を再度はじめてからやり直すことができるかどうか確認すること。 | | 目安時間 | 2 |
| 第8回授業内容 | 論文作法－2 ～論文の構成～ | ・ 具体的な入力法（章だて、段落、脚注、インデント、参考文献、等） | 目安時間 | 2 |
| ・・・予習内容 | 配布資料「表現の形態～論文を書くこと」の全体構成がどのようになっているか精査しておくこと。 | | 目安時間 | 1 |
| ・・・復習内容 | ノートを整理し、新たに学んだことや初めて知った操作方法を再確認し、授業中に行った実習を再度はじめてからやり直すことができるかどうか確認すること。 | | 目安時間 | 2 |
| 第9回授業内容 | 論文作法－3 ～Excelによる表データの可視化～ | ・ 作表および表データの可視化 ・ エクセルからの可視化データの読み込み、等 | 目安時間 | 2 |
| ・・・予習内容 | 高校の「情報」の授業で学んだExcelの操作について復習しておくこと。 教科書の第2章の2.2を熟読しておくこと。 | | 目安時間 | 1 |
| ・・・復習内容 | ノートを整理し、新たに学んだことや初めて知った操作方法を再確認し、授業中に行った実習を再度はじめてからやり直すことができるかどうか確認すること。 授業内容について理解を深めるために、教科書の第2章の他の節も読んでおくことが望ましい。 | | 目安時間 | 2 |
| 第10回授業内容 | 論文作法－4 ～論文の形式～ | ・ 論文の形式と文章の特徴（文体） | 目安時間 | 2 |
| ・・・予習内容 | 配布資料「表現の形態～論文を書くこと」の第2章を精読しておくこと。 | | 目安時間 | 1 |
| ・・・復習内容 | ノートを整理し、新たに学んだことや初めて知った操作方法を再確認し、授業中に行った実習を再度はじめてからやり直すことができるかどうか確認すること。 | | 目安時間 | 2 |
| 第11回授業内容 | 図書文献検索ガイダンス | ・ 資料検索ツールおよび図書館での資料検索技術の習得 | 目安時間 | 2 |
| ・・・予習内容 | オリエンテーションで説明された図書館ガイダンスに関する資料を、いま一度目を通しておくこと。 | | 目安時間 | 1 |

| | | | | |
|-----------|---|--|------|----|
| ・・・復習内容 | ノートを整理し、新たに学んだことや初めて知った操作方法を再確認し、授業中に行った実習を再度はじめてからやり直すことができるかどうか確認すること。 | | 目安時間 | 2 |
| 第12回授業内容 | 論文作法－5 ～剽窃防止と文献引用～ | ・ 剽窃防止の徹底と文献引用の仕方について ・ 知的所有権と情報へのアクセスの確保 | 目安時間 | 2 |
| ・・・予習内容 | 配布資料「表現の形態～論文を書くこと」の第3章を精読しておくこと。 指定した教科書の第3章の3.1を熟読しておくこと。 | | 目安時間 | 1 |
| ・・・復習内容 | ノートを整理し、新たに学んだことや初めて知った操作方法を再確認し、授業中に行った実習を再度はじめてからやり直すことができるかどうか確認すること。 授業内容について理解を深めるために、教科書の第3章を通読しておくこと。 | | 目安時間 | 2 |
| 第13回授業内容 | 論文作法－6 ～論文発表の基本～ | ・ パワーポイントを用いた論文発表の基本とその注意点 | 目安時間 | 2 |
| ・・・予習内容 | (資料として配布する) Power Point で作成したスライド図を精読しておくこと。 | | 目安時間 | 1 |
| ・・・復習内容 | ノートを整理し、新たに学んだことや初めて知った操作方法を再確認し、授業中に行った実習を再度はじめてからやり直すことができるかどうか確認すること。 | | 目安時間 | 2 |
| 第14回授業内容 | 表現の形態 ～まとめ～ | ・ 論文作法のまとめ ・ 作成課題(「表現の形態～論文を書くこと」)の印刷と提出 | 目安時間 | 2 |
| ・・・予習内容 | 配布資料「表現の形態～論文を書くこと」の全体を通読し、その要点を各自まとめておくこと。 | | 目安時間 | 1 |
| ・・・復習内容 | ノートを整理し、新たに学んだことや初めて知った操作方法を再確認し、授業中に行った実習を再度はじめてからやり直すことができるかどうか確認すること。 | | 目安時間 | 2 |
| 第15回授業内容 | 課題レポートの準備 | ・ 課題レポート(小論文)について | 目安時間 | 2 |
| ・・・予習内容 | 課題レポート(小論文)を執筆するにあたり、問題にしたいテーマを考える。 | | 目安時間 | 2 |
| ・・・復習内容 | 配布資料「表現の形態～論文を書くこと」に則って課題レポート(小論文)をまとめ上げ、締切までに提出する。 | | 目安時間 | 16 |
| 学修時間合計・・・ | | | 90 | |

※予習、復習の目安時間については、それぞれに記載している場合と復習の目安時間に予習にかかる目安時間と合算して表記している場合があります。

| 成績評価 | | |
|--------------|-------|---|
| 種別 | 割合(%) | 評価基準等 |
| 定期試験 | | |
| レポート課題 | 60 | 到達目標で示す (1) 大学で学ぶための自分の情報処理環境を整備できること、情報ネットワークの活用により学術情報の検索ができること、情報倫理についても理解を深めること(20%)、 (2) 論文やレポートの作成のために不可欠な執筆作法の基礎的事項を習得すること(20%)、 (3) 設定した問題に対し、彼我の論点を整理・対比させ、論理的に結論づけることができる(20%)、 について課題レポートを課し、評価する。 |
| 上記以外 | 40 | 毎回の授業において、受講生には到達目標項目等についてレスポンスペーパーへの記入を要求し、各人の授業の理解度をチェックし評価する。 |
| ループリック添付ファイル | 無 | |
| 成績評価備考 | | |
| その他授業外学習 | | |

| 教科書 | | | | |
|----------------|---|-----|---------------|----|
| 書籍名 | 著者名 | 出版社 | ISBN/ISSN | 備考 |
| 教養としてのデータサイエンス | 北川源四郎・竹村彰通（編） | 講談社 | 9784065238097 | |
| 教科書備考 | ・ 授業資料を適宜配布する。 ・ 初回授業には「滋県立大学 アカウント情報通知書」を必ず持参すること。 ・ 本授業のための専用ノートを一冊用意し、初回授業に持参すること。 | | | |
| 参考書 | | | | |
| 書籍名 | 著者名 | 出版社 | ISBN/ISSN | 備考 |

| | | | | |
|-------------------------|-----------|---------|---------------|--|
| 知の技法：東京大学教養学部「基礎演習」テキスト | 小林康夫・船曳建夫 | 東京大学出版会 | 9784130033053 | |
| 参考書備考 | | | | |

| | |
|--------------------------------|--|
| 前提学力等 | キーボードからの入力操作に慣熟しておくこと。 |
| 履修資格 | |
| 授業の参考となるサイト | |
| 担当者から一言（授業評価アンケート結果をふまえたコメント等） | <ul style="list-style-type: none">・ 実習を伴う授業ですので，授業で習った内容について次の授業までに必ず復習し，実習内容を習得しておくことが必要不可欠です。・ 授業を欠席した場合は，必ずその日の授業内容を友人に尋ねて理解し，次の授業までに習得しておくこと。 |
| 関連する画像・文章・動画URL | |